

《 小野連携型小中一貫校便りNo.5 R 4 / 1 / 1 4 》

ま な び や

小野の学舎



文責 藤岡市立小野小学校 校長 村田仁志 (22-2546)
藤岡市立小野中学校 校長 大倉 猛 (24-0104)

第3回 学校運営協議会を開催しました

令和3年11月25日（木）に小野小学校にて、第3回学校運営協議会を開催しました。協議会では、第1回学校評価アンケートの説明と報告、また、2019年度版「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランの改訂及びいじめ問題解決に向けた教育懇談会の実施についての熟議が行われました。

おかげさまで、2019年度版「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランの改訂を進めるための今後の取組について、確認と共通理解ができました。また、いじめ問題解決に向けた教育懇談会は同日の午後6時より、地域の方々や保護者の皆様に参加をいただき、小野小学校体育館で実施することができました。

平素より、地域の皆様のご理解、ご協力により、学校課題を改善しながら小中一貫校の学校運営ができていますことを、心より感謝申し上げます。

< 第3回 学校運営協議会報告 > 下記2項目についての熟議が行われました。

熟議1 2019年度版「夢に向かってかがやく子」 育成アクションプランの改訂について

事前の10月15日（金）に開かれた連携推進部会で検討された内容について、共通理解を行うとともに提案がありました。「文字や項目にもう少し精選が必要である」「実施可能かどうかの検討が必要である」「周知と活用が課題である」などの意見が出されたので、それをもとに「家庭の取組」「地域の取組」の検討を進めて原案を示し、地域の方々や保護者の皆様にご意見をいただくことを確認し、承認されました。

熟議2 いじめ問題解決に向けた教育懇談会について

2019年度版「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランの改訂を通して、いじめのない地域をつくるための話合いを行っていただくことを確認しました。また本年度も感染症拡大防止の観点から、参加される方を、小野地区区長会、民生委員児童委員小野地区協議会、更生保護女性会小野支部、教職員より各3名、また、学校運営協議会委員の助言をもとに各校保護者を各6名に増やし、懇談会を行うことを確認しました。

< いじめ問題解決に向けた教育懇談会実施報告 >

藤岡市教育委員会 田中政文教育長様、藤岡市コミュニティ・スクール連絡協議会新井秀一事務局長様等の来賓をお迎えして実施しました。懇談会では、田中教育長様にご挨拶をいただいた後、いじめの現状と取組について、市教育委員会と小野連携型小中一貫校から説明がありました。続いて、「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランの改訂を通して、いじめのない地域をつくるための取組について4～5名の小グループで熟議を行いました。

熟議では、「大人が率先して子どもの手本となる行動をすべきだ」「どんなときも子供の声に真摯に耳を傾けることが大切だ」等のご意見が出され、地域や保護者の方々の熱い思いが伝わってきました。今後、話し合っていたいただいたことをもとに改訂を進め、いじめのない地域づくりを推進していきます。





おのハンモックだより

No.5
R4.1.14

地域学校協働本部/地域コーディネーター

2学期のボランティア活動紹介（小学校編）

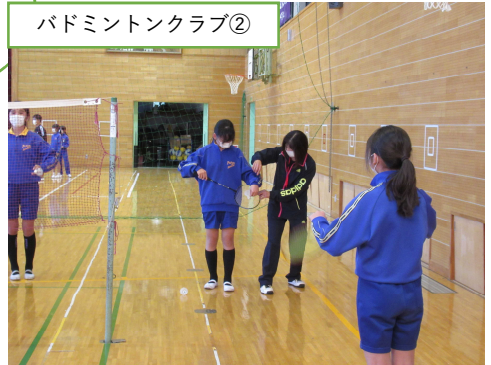
小学校のクラブがやっと始まりました。毎年ボランティアさんが参加しているバドミントンクラブには、今年度も30名以上の児童が活動しています。バドミントンは正式なルールを知らなくても気軽に楽しめることもあり、毎年人気のクラブです。〇〇さん（藤岡ジュニアバドミントンクラブ）と私がボランティアに入り、児童を見守りながら一緒に楽しんでいます。

バドミントンクラブのボランティアも4年目になります。このクラブは人数が多いので、思うようにシャトルを打てなかったり、初心者から経験者までレベルも色々だったりします。自身も身体を動かしながら、活動しております。（〇〇〇〇）

バドミントンクラブ①



バドミントンクラブ②



「きらきら」の読み語り①



「きらきら」の読み語り②



おはなしの会きらきらは、朝の業前活動の時間に絵本の読み語りを行っています。「小さいときの絵本体験を、たくさんしてほしい！」という思いで集まった有志メンバーで活動しています。

今年度は警戒度の推移により、10月からの活動スタートとなりました。昨年度と同様、読み手のマスク着用や、子供たちを集合させずに自分の席で聞いてもらうなど制限のある状況ですが、子供たちは楽しみに待っていてくれたようでした。

読み手は毎回、学年や季節に合わせて選んだ思い思いの本を、家で練習して、教室で伝えるように工夫して読みます。子供たちが本の世界に巻き込まれて教室が一体感に包まれた時などは、読み手としていちばん嬉しい瞬間です。デジタルの動画や映像にはない、紙の絵本ならではの魅力をこれからも伝えていきたいと思えます。（〇〇〇〇）



コーディネーター活動紹介



「おのハンモック」の発表



R3年12月1日（水）群馬県総合教育センターにて『地域とともにある学校づくり研修講座』が開催され、地域と学校が連携・協働した取り組み事例として「おのハンモック」についての発表を行いました。

小野連携型小中一貫校がコミュニティ・スクールになり結成された、地域学校協働本部「おのハンモック」。愛称を考案しロゴマークを作成、現在の組織になるまでの過程とボランティアの皆様の活動をお話してきました。

群馬県内には、これから活動を始める学校区も多数あるとのことで、小野地区のボランティア活動事例が少しでも県内市町村の参考になれば幸いです。

小野地区のボランティアの皆様！これからもよろしくお願いたします（*▽*）！（〇〇〇〇）